ACE Hokkaido
教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
NEWS LETTER Vol.4.2 Feb.1997
ACE北海道

バーチャル雪まつり 1997 活動報告

札幌新川高校　吉岡　隆

お陰様でバーチャル雪まつり１９９７、無事終了いたしました。関係者の皆様の多大なご協力にあらためて感謝いたします。活動を簡単に振り返りながら、バーチャル雪まつり１９９７の報告をさせていただきます。

２年前、水越さん、野間先生、飯豊さんと「バーチャル雪まつり」をやろうと話あってから、ＡＣＥの先生方一人一人に声をかけていったのがＶＳＦのはじまりでした。今回はこねっとプランやメディアキッズの先生方にも呼びかけ、昨年の夏あたりからＭＬで話あいを続け子供達の参加方法を検討してきました。

メンバー内でも当初は理解しにくかったのですが、メーリングリストは子供達用、先生方用、協力スタッフの方用の３つがあり、子供達のＭＬはＷｅｂＢｏａｒｄで公開しています。参加する場合はＭＬに登録することが原則でそれ以外の条件は特にありません。ただし、子供達のメール交換を活動の中心にしたため、今回は海外への呼びかけは行いませんでした。（来年は是非広げていきたいと思っています。）

雪まつり実行委員会発足前に武田先生、吉村さんが観光部と話しあいを持っていただいたので、今回は雪まつり実行委員会の公式実施企画としての位置付もきちんと行われ、業務を委託されたＡＣＥ北海道の窓口として私が調整を担当させていただきました。協力企業さんへのお願いは飯豊さんや水越さんをはじめメンバーのみなさんが機会あるごとに行っていただきました。

また、メディアキッズにも参加を呼びかけた結果、念願の道外からの制作参加者として神奈川大学附属高校の小林先生、箕輪君の来札も実現したことは何よりの成果であったと思います。

子供達のＭＬには２０人程の参加がありましたが、自己紹介からはじまり、ＣＵ－ＳｅｅＭｅ、ネットペイント、、、いったい何回やったのかわからないほど活発な交流が生まれました。Ｐａｉｎｔｅｒ４Ｊをエセルテジャパンのご協力でモニターさせていただくことができ、ＰＯＥＭ’９６でワークショップを行いました。ペインターって、私たちが考えるほどは子供達には難しくないらしく、ほとんどキッドピクスと同じ感覚でネットペイントをしている生徒達の姿に大変おどろかされました。

今回の雪像テーマは、１０月下旬に神大の箕輪君から提案された人とコンピュータが地球を支える原画がきっかけとし、赤羽台西小須藤君のマンモスや福井野中塚田さんの伏姫などが加わり、子供達が思考錯誤の末に「Ｗｅ ａｒｅ ｔｈｅ ｏｎｅ！」というテーマでまとめられました。雪像案決定時はちょうど札幌が冬休みであった為、本校の生徒は自宅からインターネットに接続していましたが、１日に何枚も絵をかきメールだけのやり取りで原画がまとめられたことは、今振り返ってもすごい出来事であったと思います。（電話の使いすぎでお母さんに怒られたそうです。）１月２４日に実行委員会からプレス発表の予定がなぜか１日早まり、インタビューを予定していた生徒は学校にいないというおまけもありましたが、１月３０日から大通７丁目にて制作が開始されました。

初日、２日目までは正直言ってほんとうにできるのだろうかと心配になるほど難しい雪像でした。特に地球は作業していてもどこを丸めるのかさっぱりわからず、佐藤先生が福井野中マルチメディア部制作日記でレポートしているようにどの先生もこれで本当にできるのであろうかと心の中で思っていました。

今年は、目玉商品がいくつかありましたが、その１つがライブカメラです。ＨＢＣさんの協力で３分に１回ビデオキャプチャーされた雪像の画像がホームページからリアルタイムでみることができ、事前にニュースなどでも紹介された為か１日に１０００を超えるアクセスがありました。（ＨＢＣさんのピークのヒット数は１日３万５千だったとか）

このライブカメラを利用し、制作に参加する生徒達とそれを応援する参加校が作るライブページも面白い試みになったと思います。メールを中心にまとめられた野間先生、正確なビデオキャプチャーを中心にコメントを加えていただいた熊本阿蘇長陽中の堀尾先生の丁寧な仕事と明星小清水先生の応援メールは、ほんとう

ついに完成!!
バーチャル雪まつり、メディアキッズの旗とともに

にインターネットで雪まつりを世界中の人達がみて応援してくれているのだなということを実感させてくれました。

また、会場にいながらメールを受け取れる環境を与えてくださったＮＴＴＤｏＣｏＭｏさん、パーソナルさんにも深く感謝いたします。

２月１日には会場と東京赤羽台西小、熊本長陽中を結んでのＣＵ－ＳｅｅＭｅを行いましたが、何故か会場の画像やＣｈａｔＷｉｎｄｏｗの文字が届かないというアクシデントにみまわれましたが、（０°Ｃ近い気温の為、ＰｏｗｅｒＢｏｏｋがいうことを聞かなかったと思われます。）とっさにＰＨＳと携帯電話で会話をして切り抜けました。

この日は神大附属の小林先生、箕輪君も到着し、夕方富士ゼロックスさんのショールームをお借りして交流会を実施しました。日頃メールやＣＵ－ＳｅｅＭｅでお互いを知っているせいか初対面という感じもなく、和やかな雰囲気で明日の仕上げにむけてジュースで乾杯をし、オフラインミーティングを行うことができました。

実は今回の制作で１番活躍したのがネットにつながっていない発寒中科学部の男子生徒達で最終日までとにかく黙々と良く働いてくれます。日頃の荒島先生の指導もあって先生の話をよく聞き着実に作業をこなしてくれたおかげで、間に合わないと思われた雪像も一気に仕上がりました。また、制作レポートを会場でメールしながら、丁寧な仕事ぶりの福井野中マルチメディア部の活躍も見逃すことはできません。

また、制作期間中ずっと陣頭指揮をとってくださった経営情報センター飯豊さん、ほんとうにお疲れさまでした。

ＮＨＫ「おはよう日本」、ＴＢＳ「ＮＥＷＳ２３」に紹介されるなど思わぬ付録もありバーチャル雪まつり１９９７は多くの出会いと子供達のコラボレーションの大きな成果を生むことができたと思います。

２年後の第５０回さっぽろ雪まつりまで、バーチャル雪まつりは続きます。また、来年も皆さんとの出会いを楽しみにＶＳＦフラッグをたたみたいと思います。

ＡＣＥ全国総会報告!!

札幌発寒中学　荒島　晋

2/22、Mac Expo の興奮さめやらない幕張にて、97 年の ACE 全国総会が行われました。これに先だつ幹事会と併せて報告します。

幹事会報告

'97年度のACE総会に先だって，15:00より幕張プリンスホテル・スカイバンケットルームで幹事会が持たれました。MacExpo の WorkShop の時間の関係で 30 分ほど遅れての開催でした。進行内容は次の通りです。

●渡辺会長挨拶

会長が所用で幹事会・総会に出席できないため，清水渉外担当幹事が上越まで出向いてビデオ撮影をしてきました。

●１．'96 年度収支報告

'96年度の収支報告で特に目を引いたのは，“ POEM ”に関して大きな赤字にならなかったことです。陰でご苦労いただいた北海道新聞社の皆さん，稚内北星短大の皆さんに感謝します。

●２．懸案事項（要決議）

2-1 各支部管理体制

現在の総会員数は 497 名，内北海道は 78 名です。残念なことに 26 名の方が ACE を脱会しました。その主な理由は「例会等の行事の開催地が遠くて参加できない」「Mac の担当をはずれた」「学校に Mac 以外の機種が入った」です。北海道支部の場合，最近でこそ札幌での研究会が多いですが，Multi Media-Caravan と称して札幌以外での開催も行ってた，そもそも道内ではMacの採用が低い，スタートから Mac だけではなくマルチプラットホームのコンピュータの教育利用を目指しその結果として今日のインターネットを中心とした活動になってきている訳です。

さて，各支部の幹事の動向ですが，上越では事務局長が山川氏

ゼロックスショールームでの交流会。男子、女子見てないでこっち見ろ!!

から戸田氏へ，関東は支部長が佐藤氏から西澤氏へ，代表幹事が西澤氏から小原氏へと代わりました。九州は幹事こそ変わりませんが支部長の吉富氏が転勤の予定で，今よりも活動しやすくなるので“ ACEの為にこの身を捧げます ”という力強い宣言がありました。また，新たに北陸支部と東北支部が設立されました。

今年度は「ACE学習指導案集」は発行されました。それに伴い，貸出機材の提供を受けたさいのレポートの提出を徹底してACEの教育活動の資産を増やそうという確認がなされました。

2-2 収入増のための活動

特別購入の活性化として，ソフト，ハードの評価を行うことでACEの知名度をアップしようという確認がされました。昨年度で言えばボイジャーから「電子ブックエキスパンドツールII」の特別購入があり，今後もさらにその方向を充実させようというものです。

しかし，収入増の最大の手だては「会員増」と「会費未納をなくす」ことであるとといくことが改めて確認されました。会費未納の会員には支部事務局から連絡が行きます。『皆さん会費を払ってね』（エッ！会費払うくらいならやめるって！そりゃないわ^^;）

●３．討議事項

3-1ACE-Netの強化について

'97年度の活動方針として，「ACE-Netとして機種も信条も越えたHuman Net-Workを目指す」「Windows環境でのアクセスを可能にし，多くの教育機関との交流を図る」ことが提案されました。最大の変更点は『IP接続によるACE-Netサーバーの一局集中』です。特に北海道では現在札幌しかアクセスポイントがなく，ACE-NetよりもむしろACE-MLの方が活発でしたが，このことによりACE-Netの活性化が期待できます。ただし，旭川の皆さんには今まで不手際をお詫びしなければなりませんね。他に２案としてISDNによる回線の強化の方法も案としてありましたが，幹事会では満場一致で１案のIP接続が決議されました。サーバーは北陸支部事務局のミヤコーさんから専用線を無償提供していただきWWWサーバーを立ち上げるための“ ace.or.jp ”のドメインも取得済みであることが付帯して報告されました。これで，ACEではACE-MLとFCCによるACE-Net，そしてHomePageの３つの手段を手に入れた訳です。それぞれをどう活動に位置づけ，総活用していくかは今後ネット上で練り上げていかなければなりません。

3-2 制作物およびイベントの進行手順について

POEMなど支部主導の場合と今回の指導案集のような本部主導の場合との作業の進行手順の確認がされました。なお，今まではPOEMと総会の年２回の幹事会を行ってきましたが，さらに年２回の事務局長会を時期を変えて行うことで事務活動の活性化とACEとしての活動をスムースにすることが確認されました。

●４．'97年度（仮）予算案

前年度との違いは，機材費，特別販売，支部関連費の項目が追加されたことです。また，ACE News-Letterに企業広告を入れることで収入増を図ることも確認されました。

●５．役員改選の確認

前年度同様，渡辺会長と清水渉外担当幹事の推薦が確認されました。

とここまで，短い時間での集中した審議を経て，いよいよ総会の始まりです。

'97年度ＡＣＥ総会報告

会場を幕張プリンスホテル・プリンスホールに移し，18:00を少し過ぎて本年度の総会が開催されました。北海道支部からは武田支部長，荒島代表幹事（兼副支部長），青柳事務局長，高瀬監査が出席しました。この会の進行はACE関東支部が担当しています。なお，詳細につきましてはのちほど送られてきます“ ACE News-Letter ”をご覧ください。

◇進行：西澤先生（関東支部）

●会長挨拶（渡辺会長）

プロキシマでスクリーンに映し出された渡辺先生の姿は相変わらずお元気そうでした。力強くACEの活動の益々の活性化を呼びかける内容でした。（上越まで撮影に行かれた清水先生ご苦労さまでした）

◇議長：佐藤道幸先生（関東支部）

本来総会の司会は会長ですが，代わって佐藤先生が議長を努めました。

●１．'96年度事業報告（矢野事務局長）

用意したデータが思わぬアクシデントに！ PB5300だけでなくDUOおまえもか！何とかしようと奮闘する小川先生＆脇口秘書の

渉外担当幹事・清水先生
「私は代理店の人間ではありません。教師です」

健闘空しく，矢野事務局長はスクリーンをにらみつつも口頭で'96年度の事業報告をするのでした。ペーパーのない参会者は多分チンプンカンプンだったに違いありません。詳しくはACE News Letterでどうぞ。

●２．POEM'96（武田北海道支部長）

昨年度日本の最北端「稚内北星短大」550名を集めて開催したPOEM'96の報告とお礼。そして，今後の北海道支部の活動計画の概要が武田北海道支部長より話されました。元気な北海道支部が輝いて見えます。

●３．東北支部・北陸支部紹介

●４．ACE-Net の今後（清水渉外担当幹事）

さすがプレゼンの鬼，清水先生ならでは用意周到なマルチメディア・プレゼンテーションです。ACE-Net の IP 接続計画が非常にわかりやすくスクリーンに映し出されます。さすがプロキシマ！美しい…でも高い。ACE-Net もいよいよインターネットに参入です。

●５．'97 年度事業計画＆予算案（矢野事務局長）

何とか間に合わせた脇口秘書，エライ！矢野事務局長から本年度の予算案＆事業計画が報告されました。それにしてもACE学習指導案集を手に満足気なようす。さすが教育学部出身！みなさん会費をはらいましょう。

●６．'97 年度役員選出

'97年度の役員は昨年度に引き続き，会長は渡辺隆氏，渉外担当幹事は清水英典氏が承認されました。お二人のご尽力に心から感謝するとともに，今年度も大いにご期待申し上げます。

● Apple からのお話（福田 Apple 教育本部長）

プレゼンの本家，Apple からは変らぬ Apple の基本方針“ Knowledge Navigator ”をとうとうと福田本部長自らが語られました。最後にACEへの惜しまぬ協力を約束してお話を締めくくりました。

東北支部会長・尾形先生は校長先生！

懇親会～その後の報告

ACE の名司会者，清水先生の進行で懇親会が始まりました。おっ，ここでニュートンブースでビラをまいていた村田ジョージ先生登場，その後も小野@明星preACE北海道先生，高橋純@横浜国大さんなど，北海道所縁の方が続々登場してきます。

●挨拶（鈴木@島津理化）

●乾杯

● POEM'96 の報告（荒島@ ACE 北海道）

遠路はるばる稚内まで来ていただいたお礼と，メーカー各社のこれからの連携（簡単にいうと器材くれというお話）を手一杯させていただきました。

● POEM'97 のご案内（ACE 関西支部の大橋巨泉？）

POEM'97は８月２～３日は大阪の某所で開催されること。テーマは「どこでも Window（Windowsではない，と何回も強調なさってました」子供たちが世界に向けて窓をあけるというものだそうです。暑い最中，蒸し暑い大阪での開催です。昨年度のお返しに北海道からもツアーを組んででかけたいものです。

●閉会（Apple 山本部長）

ACE への協力と発展をお話しされました。（当然，ACE 北海道としても直接支援をお願いしてきました）

夏の再会を約束してそれぞれ散会しました。あっ！ジョージ村田先生がいない！？

ACE 北海道の面々はその後，ヤノ電器・清水先生・鈴木島津理化常務・北陸支部・九州支部の皆さんと場所を変えて遅くまで懇親を深めました。（恐るべし，「ほやの干物」！）

懇親会での武田支部長と矢野事務局長

もう２本だけ書かせて。荒島

北海道から九州へ熱いエールを!!

～ ACE 九州支部から最優秀賞受賞校登場～

第３回コンピュータ教育実践賞（主催：日本児童教育振興財団，小学館教育編集部，ジャストシステム）の入賞者が発表されました。昨年度の吉富先生の奨励賞に続き，なんと最優秀賞にはACE九州支部の鹿児島県出水郡東町立鷹巣中学校　辻先生が輝きました！「郷土を見つめ世界へ伝える」－ホームページ作成を通した情報基礎－辻先生おめでとうございます！

「最優秀受賞」の実践現場を訪ねる特別ルポの一文にはこうあります。「…辻先生は，この旧式のパソコンを使って技術・家庭科「情報基礎」の授業でパソコン通信を始めた。翌５月，町費でマルチメディア対応型のパソコンが一台，９月にはＡＣＥ（教育とコンピュータ利用研究会：本部・神戸市）から半年間，研究用として同じくマルチメディア対応型のパソコン５台を借用。この６台でインターネットの情報発信（ホームページの作成と公開）をめざす授業が３年１組で始まった。…」（総合教育技術３月号・教育ジャーナリスト　日向野一生）とあるじゃないですか。ＡＣＥもようやく日の目を見たか！

ＡＣＥ北海道支部ではホームページ・コンテスト関係の受賞は以前から立て続けにありますが，このような教育実践賞の受賞はありません。こりゃ北海道ものんびりしていられないぞ。

「北海道の教育メーリングリスト（HEML）」へ入ろう！

先月ご案内しました「北海道の教育メーリングリスト（HEML）」も多くの方の賛同を得て，現在70名余りの参加者が北海道の教育について語っています。まだ，登録していないACE会員の皆さん！今すぐに登録しましょう。

登録方法は、

HEML-control@wakhok.ac.jp　宛に
append　とsubject（題目）に書いて

E-mailを出すだけです。ただし，普段自分の使っているmail-addressから出してください。メールサーバーがHEADを自動検索して登録します。よろしくお願いします。

今月は書きまくっちゃいました。がはは！

MACWORLD Expo/Tokyo'97 報告

札幌星園高校　高瀬敏樹

今回初めて見学しました。簡単に報告します。

毎年来ている支部長は「何か通路が広くなったね～」なんて言っていたけど、それって、出展ブースが少なくなったか来場者数が減ったかのどっちかですよね。でも最終日は一日中ひどい混雑で、総来場者数は１８万人を上回った（アップルコンピュータ発表）とのこと。

ハードではAppleの２０周年記念Macの展示が目を引いた。128kを初めて見たときのような感動が甦る。可愛らしさは全く感じられないことが違いか。性能の善し悪し以前に、“自分の部屋に置いておきたい”という所有欲が先行するタイプの工業製品だ。

また、UMAX，akia等の互換機が目立っていた。互換機がどんどん出てきて、コストダウンが図られることを期待したい。Macユーザーがいま一番欲しいのが、MacOSが走る安価なサブノートじゃないだろうか。

MacOS7.6が発表されていたけど、BeOSに比べると（酷か）取り上げるべきものは特になく、Mach+OpenStepのMacOSが早く実現することを期待するのみ。

アプリケーションソフトではAdobeの新製品の発表もなくCD-ROMタイトル市場が低調とあって、いまひとつ盛り上がりに欠けた展示となっていたかな。確実なのは４月発売予定とされていたAdobe Acrobat 3.0Jのリリースがまたまた遅れそう（「今年の前半」と言っていた）なことだけ。

国際会議場で行われたワークショップ「小中学校・養護学校とアップルテクノロジ～メディアキッズ＆先進事例紹介」では立見が出るほどの盛況で、１５０人以上の教育関係者が熱心に聴き入っていました。

結局、一番面白かったのはユーザーグループが発表していた、「水冷式マック」や「べにやマック」だったかな。

Expo会場にて、高瀬先生…ではなくヤギでした

第４回マルチメディアバトル開催迫る！

事務局　吉村　匠

昨年度は「Inter City Oroppas」という名称で開催された、札幌CGフェアが今年はCyber Space Sapporo'97(イベント内容に関しては同封パンフレットを見てください)として、3月11,12日に札幌パークホテルで開催されます。そしてACE北海道は、すでに恒例と化しつつある第4回マルチメディアバトルを開催します(過去三回は千歳、Oroppas、POEM)。

今回の参加校は札幌音楽専門学院、札幌新川高校、札幌福井野中学、札幌発寒中学、アトリエアイリス、札幌星園高校の６団体です。今回の戦いではどんなハプニングが飛び出すか、もちろん発表者は児童、生徒、学生のみなさんです。会員のみなさまの多数のご参加をお願いいたします。

タイトル「マルチメディアバトル　イン　Cyber Space Sapporo'97」

主催　教育とコンピュータ利用研究会
日時　3月11日　15:30～17:00　入場無料
場所　札幌パークホテルB2パークプラザセミナー会場
　　札幌市中央区南10条西3丁目

ACE 北海道支部事務局長などの改選について

北海道支部長　武田亘明

1996年度総会において、支部役員の改選を行い、事務局長は道新吉村氏留任を決議していましたが、氏の３月からの職場の移動にともない、辞退の申し出がありました。
つきましては、下記のとおり後任役員の推薦をいたします。

記

・事務局長に支部幹事（会計、ニュースレター編集長）の道新青柳氏を推薦します。
・支部幹事（会計、ニュースレター編集長）に、道新情報開発本部吉田氏をご推薦します。

なお、この後任人事に関して、ご意見、別推薦などがある場合は、３月10日までに、ACE ネットまたは、ACE メーリングリストにアップしてください。特に反対のご意見がない場合は、３月11日を以て役員変更が承認されたものといたします。

編集後記

みなさまこんにちは。ACE北海道支部の人事移動が発生しそうです。それは吉村が更迭されて、新たに北海道新聞社の青柳事務局員が支部事務局長に選任されそうなのです。この間、一体何が起こったのかはまだ判明しておりませんが、武田先生が危惧している、このままメンバーが固定化してそのまま齢を重ねていった場合、ACE北海道はどうなるのか、会員の平均年齢は2020年には、約58才となり、武田支部長63才、吉村事務局長60才、マッシュ工藤会員におかれましては、「喜寿」を睨みつつ、ということにもなりかねん、が原因ではないかという噂です。いずれにしましてもみなさま青柳事務局長をぜひぜひ宜しくお願いいたしまして、わたくしの退任のご挨拶とさせていただきますと同時に「新会員宣言」とさせていただきたく存じます。ということで今後とも会員活動に励みます。それではね。　（吉村）

千歳で４時間待たされたのもなんのその，今年も「ACE総会＆MacExpo」へ行ってきました。（空港でお会いしたNCF-凸版桝谷さんはすごすごと帰っていきました）最終日の夜，武田先生の部屋でACE北海道支部会をやろうとAM1:00に村田先生を起こしたのは私です。ジョージ先生すまん。反省…。
さて，支部事務局長が吉村氏から青柳氏に代わることになりそうです。吉村事務局長，旗揚げから今までありがとうございました。新天地でのご活躍をご祈念申し上げますとともに，これからもよろしく！　（荒島）

学年末を迎え、超忙しい毎日です。本校でも、E-mail アドレスを持っている教員の割合が２０％を超えました。電子メールの活用法に関する学習会でもやりたいですね。　（高瀬）

数日前の大雪もウソのような気持ちの良い天気がここ２、３日続いている。
すっかり春の訪れを感じる今日この頃、例年通り送り出す卒業生に、自分は何を与えることが出来たのだろう。ここ１年のパソコンブームにあって、コンピュータの利用環境の変化はあまりにも早い。利用目的の多様化の中でこれさえ教えればＯＫといった絶対基準が揺らぐ中、安全策はワープロと表計算というのではあまりにも寂しい。コンピュータが一人に一台の時代が到来したとき、それが日常の人間の行動とどのように協調して生かされるのか、そのビジョンを探る時期がまた来た。　（由水）

吉村さんの異動により、新事務局長となりました（正確には、推薦を受けました）。ACE事務局に在籍３年、平局員～会計～レター編集長～そしてついに一人事務局長にあいなってしまった。と思いきや、３月に東京からやってくる吉田情報開発本部員は、超Macユーザー＆DTP使いなのでした。レター編集長としてこれに優る人材はいません。来月からも二人態勢で事務局を運営していけそうです（しかし吉田本部員の了解はまだとっていません・・・）。
さて、振り返ってみると吉村事務局長には不肖私、いろいろな面でお世話になりました。僕は教員でも教育関係者でもない新聞社員なのですが、いまや事務局としてよりも教育に携わる会員としてACEに参加していると感じています。パソコンやネットワークは簡単なんだ、とずっと社内のオジサンたちに吹聴してきましたが、やっぱりある年齢から上は一部例外を除いてダメです。真のデジタリアンたるのは、デジタルワールドを遊泳してきた子どもたちなのです。しかし、デジタリアンへの道は均等に整備され、通行証は平等に与えられなければなりません・・・こんなに洗脳されてしまったのも、すべて支部発足時になかば強制的に入信させてくれた吉村さんのせい？なのです。本当にお疲れさまでした。
（青柳）

青柳氏が新事務局長として推薦されました。新生ACEが誕生しようとしています。その第一歩は、マルチメディアバトル in CyberSpace Sapporo（３月11日、札幌パークホテル）です。いきいきした子供達にエールを送ろう！ガンバレー！　（武田）

教育とコンピュータ利用研究会北海道支部
1997年２月25日発行